

しぜん通信

秋のはじまり、彩る花

＊コウヤボウキ＊

くるんとカールした花びらが可愛いピンク色の花。線香花火のようですね。花が終わるとタンポポのような綿毛になります。



漢字で書くと「高野箒」。高野山でこの植物の茎を束ねてホウキの材料にしていました。細く硬い茎は、確かにホウキに向いていそうです。



どちらも林の中の
散策道沿いで見られます。

＊サラシナショウマ＊



真っ白なブラシのような花。小さな花が集まってできています。

背の高い植物で、風に揺られる姿は優雅です。秋の涼しさを感じさせてくれますよ。昔は、若葉をゆでて水にさらして食べたそうです。



秋になり野外でも過ごしやすくなりましたね。
のんびり散歩しながらいろいろな花を見つけてください。



編集長 M

＊ヒガンバナ＊



「彼岸花」を見ると「なんだか不吉だな」と思ってしまいませんか。

しかし、稲作が盛んな日本でも大切な植物でした。ヒガンバナには毒があります。そのため、田んぼのまわりに植えられ、モグラやネズミが畔に穴をあけてしまうのを防いでくれるのです。

だれのしわざ??

散策道のわきに掘られたあと…。

だれのしわざでしょう?イノシシかな?



夜に自動撮影されたアナグマ

これは「アナグマ」という生き物のしわざ。「クマ」といってもイタチのなかまです。ずんぐりした体と目のまわりの模様が特徴。ミミズや甲虫の幼虫が大好きで、土を掘って探しています。ちなみに「同じ穴の貉(むじな)」とは、ボクたちの掘った巣穴にタヌキがやってきて住むことに由来しているみたいだよ。

